

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場会社名 菊水化学工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠山 真人

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 稲葉 信彦

TEL 052-300-2222

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日 配当支払開始予定日 平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,629	—	173	—	181	—	38	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.69	—
22年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
23年3月期第2四半期	12,542	—	6,906	—	55.1	658.68		
22年3月期	12,519	—	6,945	—	55.5	662.34		

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,906百万円 22年3月期 6,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	—	510	—	535	—	285	—	27.11

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	10,716,954株	22年3月期	10,716,954株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	231,402株	22年3月期	230,130株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	10,486,067株	22年3月期2Q	一株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期第2四半期の数値並びに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (参考) 前第2四半期財務諸表(個別)	10
(1) (参考) 前第2四半期損益計算書(個別)	10
(2) (参考) 前第2四半期キャッシュ・フロー計算書(個別)	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

※当社は、第54期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、数値についての前年同四半期連結累計期間比較を行っておりません。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な新興国や政府の経済政策の効果を背景に、景気後退局面から緩やかな回復基調にあるものの、本格的な企業業績の回復には至っておらず、円相場の高止まり、雇用情勢の悪化、節約志向の高まりによる個人消費の低迷など、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、グループを挙げてコストダウン、設備稼働率の向上を進めると共に、品質、安全管理、内部統制の強化による販売体制を整えシェア拡大に努めました。また、「下地から仕上げまで」を販売戦略の要として新規顧客獲得に向けて積極的な営業活動に努めました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、7,629,084千円となりました。営業利益は173,179千円、経常利益は、181,976千円となり、四半期純利益は、株式の評価損の影響で38,773千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(材売・工事)

材売・工事においては、今後も需要の拡大が望める改修市場向け製品や高付加価値製品の拡販に努めるとともに、子会社とした日本スタッコとの連携を深め、製品ラインナップの充実を図るとともに改修工事獲得を推し進めた結果、材売・工事の売上高は、7,221,093千円となり、営業利益134,568千円となりました。

(セラミック)

セラミックにおいては、電機・電子部品業界をはじめとした主要顧客の回復による受注増と新製品の受注拡大に努めました。その結果、セラミックの売上高は、417,990千円となり、営業利益は38,611千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は12,542,175千円(前連結会計年度末比22,720千円増)となりました。

これは主として受取手形及び売掛金が191,353千円増加、投資有価証券が109,515千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は5,635,464千円(前連結会計年度末比61,856千円増)となりました。

これは主として支払手形及び買掛金が98,009千円増加、1年以内返済予定の長期借入金が73,900千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,906,710千円(前連結会計年度末比39,136千円減)となりました。

これは主としてその他有価証券評価差額金が24,956千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいていますが、実際の数値は今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

また、通期の連結業績につきましては、現時点で売上高16,800百万円、営業利益510百万円、経常利益535百万円、当期純利益285百万円を見込んでおります。詳細につきましては、平成22年10月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 固定資産の減価償却費の算定方法	固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
3 経過勘定項目の算定方法	固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。
4 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ623千円減少し、税金等調整前四半期純利益が14,786千円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,393,485	2,375,989
受取手形及び売掛金	4,301,054	4,109,701
商品及び製品	361,608	432,769
仕掛品	149,341	152,442
原材料及び貯蔵品	243,518	231,312
繰延税金資産	117,543	117,543
その他	201,649	171,481
貸倒引当金	△31,667	△29,857
流動資産合計	7,736,533	7,561,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	791,957	815,476
機械装置及び運搬具（純額）	151,761	165,440
土地	1,497,931	1,497,931
リース資産（純額）	255,068	245,993
その他（純額）	51,587	53,557
有形固定資産合計	2,748,306	2,778,398
無形固定資産		
のれん	51,371	55,486
その他	66,928	82,928
無形固定資産合計	118,299	138,414
投資その他の資産		
投資有価証券	845,358	954,873
繰延税金資産	288,834	285,194
長期預金	610,000	610,000
その他	197,502	194,245
貸倒引当金	△2,659	△3,055
投資その他の資産合計	1,939,035	2,041,257
固定資産合計	4,805,642	4,958,071
資産合計	12,542,175	12,519,455

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,117,179	2,019,170
短期借入金	1,400,000	1,369,500
1年内返済予定の長期借入金	76,100	150,000
1年内償還予定の社債	200,000	70,000
リース債務	69,404	134,982
未払法人税等	76,217	35,820
その他	692,565	669,092
流動負債合計	4,631,466	4,448,565
固定負債		
社債	—	200,000
長期借入金	151,509	99,809
退職給付引当金	500,119	513,578
役員退職慰労引当金	236,887	226,768
その他	115,481	84,885
固定負債合計	1,003,997	1,125,042
負債合計	5,635,464	5,573,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,394,100
資本剰余金	1,092,160	1,092,160
利益剰余金	4,544,456	4,558,116
自己株式	△116,859	△116,340
株主資本合計	6,913,857	6,928,036
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,146	17,810
評価・換算差額等合計	△7,146	17,810
純資産合計	6,906,710	6,945,847
負債純資産合計	12,542,175	12,519,455

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,629,084
売上原価	5,526,947
売上総利益	2,102,136
販売費及び一般管理費	1,928,957
営業利益	173,179
営業外収益	
受取利息	3,283
受取配当金	7,446
仕入割引	1,903
受取ロイヤリティー	3,703
その他	9,164
営業外収益合計	25,501
営業外費用	
支払利息	9,811
売上割引	4,020
その他	2,872
営業外費用合計	16,704
経常利益	181,976
特別利益	
投資有価証券売却益	1,660
貸倒引当金戻入額	89
特別利益合計	1,750
特別損失	
投資有価証券評価損	49,694
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,162
その他	484
特別損失合計	64,341
税金等調整前四半期純利益	119,384
法人税等	80,610
少数株主損益調整前四半期純利益	38,773
四半期純利益	38,773

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	119,384
減価償却費	133,432
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△13,459
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	10,119
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,413
受取利息及び受取配当金	△10,729
支払利息	9,811
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	48,033
売上債権の増減額（△は増加）	△190,962
たな卸資産の増減額（△は増加）	62,057
仕入債務の増減額（△は減少）	98,009
その他	4,823
小計	271,934
利息及び配当金の受取額	10,940
利息の支払額	△8,958
法人税等の支払額	△31,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	242,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額（△は増加）	△2,040
有形固定資産の取得による支出	△29,281
無形固定資産の取得による支出	△17,677
投資有価証券の取得による支出	△600
投資有価証券の売却による収入	33,485
その他	△12,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	30,500
長期借入れによる収入	70,000
長期借入金の返済による支出	△92,200
社債の償還による支出	△70,000
自己株式の取得による支出	△519
リース債務の返済による支出	△83,877
配当金の支払額	△52,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△322
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	15,455
現金及び現金同等物の期首残高	2,073,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,089,445

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは建築仕上材、建築下地調整材、タイル接着材、建築土木資材、ファインセラミックの製造、販売及びその関連商品の販売並びに建築物の改修改装工事（ビルリフレッシュ）を営んでおります。

したがって、当社は、製品・製造体制を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「材売・工事」と「セラミック」の2つを報告セグメントとしております。

「材売・工事」は、建築仕上材・下地調整材・タイル接着材・土木資材の製造販売及び建築物の改装・改修工事をしております。「セラミック」は、窯業用治具及び電子器具部品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	材売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,211,093	417,990	7,629,084	7,629,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,211,093	417,990	7,629,084	7,629,084
セグメント利益	134,568	38,611	173,179	173,179

(注) 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. （参考）前第2四半期財務諸表（個別）

(1) （参考）前第2四半期損益計算書（個別）

[前第2四半期累計期間]

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,231,929
売上原価	5,294,342
売上総利益	1,937,587
販売費及び一般管理費	1,824,635
営業利益	112,951
営業外収益	
受取利息	3,136
受取配当金	7,279
受取ロイヤリティー	4,621
その他	10,553
営業外収益合計	25,591
営業外費用	
支払利息	8,283
売上割引	3,104
その他	1,646
営業外費用合計	13,033
経常利益	125,509
特別利益	
貸倒引当金戻入額	872
特別利益合計	872
特別損失	
投資有価証券評価損	40,145
役員退職功労加算金	87,650
その他	3,216
特別損失合計	131,011
税引前四半期純損失(△)	△ 4,629
法人税等	9,690
四半期純損失(△)	△ 14,319

(2) (参考)前第2四半期キャッシュ・フロー計算書(個別)

[前第2四半期累計期間]

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△ 4,629
減価償却費	127,646
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 478,423
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 2,845
受取利息及び受取配当金	△ 10,415
支払利息	8,283
有形固定資産売却損益(△は益)	54
投資有価証券評価損益(△は益)	40,145
売上債権の増減額(△は増加)	234,188
たな卸資産の増減額(△は増加)	84,065
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 46,805
その他	131,926
小計	83,190
利息及び配当金の受取額	10,371
利息の支払額	△ 8,259
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	31,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額(△は増加)	46,762
有形固定資産の取得による支出	△ 41,704
有形固定資産の売却による収入	20
無形固定資産の取得による支出	△ 13,873
その他	△ 4,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000
社債の償還による支出	△ 10,000
自己株式の取得による支出	△ 24,132
リース債務の返済による支出	△ 71,562
配当金の支払額	△ 52,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,517
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 416
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,113
現金及び現金同等物の期首残高	1,599,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,643,544